

2015. 6

(島根県道づくり調整会議)



道づくりだより 第88号



写真：夢街道ルネサンス 「銀山街道 赤名宿」

-Contents-

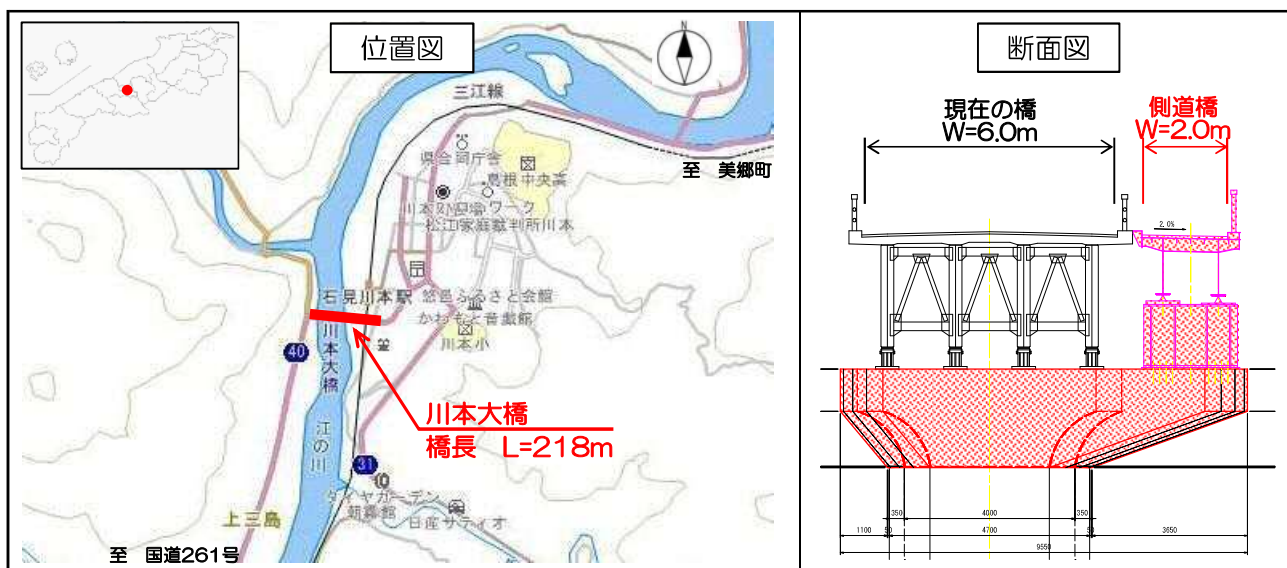
1. 主要地方道 川本波多線 川本大橋が広がり安全に通行できるようになります (道路建設課)
2. 「銀山街道赤名宿」夢街道ルネサンスに認定されました (高速道路推進課)
3. 「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ (道路維持課)
4. 出雲大社参詣道「神門通り」の整備が順調に進んでいます (都市計画課)
5. 飯石広域農道 (愛称：飯石ふれあい農道) の計画区間が全て2車線化となりました! (農地整備課)

主要地方道川本波多線 川本大橋が広がり 安全に通行できるようになります！

主要地方道川本波多線は、邑智郡川本町の国道261号を起点とし、雲南市掛合町の国道54号に至る幹線道路で、県中央部の中山間地域を結ぶ重要な路線となっています。

このうち、川本町中心部の江の川に架かる川本大橋については、車道が6mと狭いうえに自動車交通量が多く、また歩道が設置されていないため、川本小学校、川本中学校、島根中央高校に通う多くの児童・生徒が非常に危険な状態となっていました。

そのため、平成22年度から、現在の橋に側道橋を併設して幅を広げる事業を行っていましたが、このたび完成を迎えることとなりました。今後は人も車も安心して橋を渡ることができるようになります。



※7月6日(月)17:00より
通行できるようになります



【事業概要】

- 箇所：邑智郡川本町谷戸～川本
- 延長：218m
- 期間：平成22年度～平成27年度
- 総事業費：約5.6億円
- 整備内容：側道橋設置（幅員2.0m）

「銀山街道赤名宿」 夢街道ルネサンスに認定されました



「銀山街道赤名宿」(飯石郡飯南町)が夢街道ルネサンスに認定され、平成27年5月22日に広島市で認定証授与式が開催されました。

赤名宿は、赤名峠を目前とした街道の宿場町として、また、銀山街道、宍道・尾道街道が合流分岐する交通の要衝として栄え、街道沿いには、当時の繁栄を偲ぼせる数々の地域資源が今なお数多く残っています。

昨年9月には交流拠点として「酒づくり交流館」の改修整備も完了し、各団体が連携して地域づくりを行う機運が高まっています。



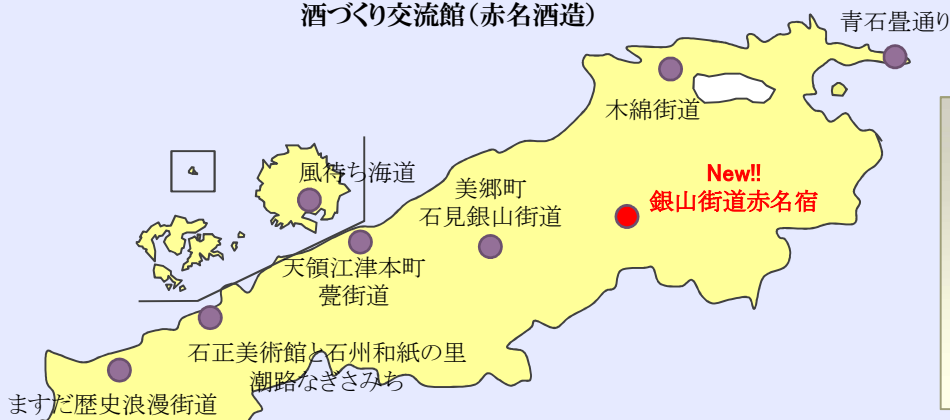
銀山街道の最高所(標高638m)
赤名峠



酒づくり交流館(赤名酒造)



銀山街道資料展示施設
「倉屋」



島根県内の夢街道ルネサンス認定地区

夢街道ルネサンスとは

道を通じて地域の一体的な発展を目指し、中国地方の歴史・文化・自然等の地域特性を活かした地域づくりを支援することを目的に、中国経済連合会と国土交通省中国地方整備局が連携して実施している取り組みです。

「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ

◇毎年8月は、「道路ふれあい月間」です。

道路の役割や重要性をあらためて認識し、道路をいつくしむ気持ちをもっていただくため、毎年8月を「道路ふれあい月間」と定めています。この月間中には全国で表彰をはじめとした様々な活動が行われます。

◇「道路ふれあい月間」推進標語とは

毎年1～3月頃に、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、国土交通省が広く募集をしています。島根県では、募集期間には県庁道路維持課や各県土整備事務所、市町村役場において広報誌、ホームページなどで応募を呼びかけています。入選作については、ポスターやチラシなど、「道路ふれあい月間」における活動の推進に幅広く使用されます。今年度は、「道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。」をテーマに募集がありました。

◇平成27年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品は次のとおりです

○最優秀賞（3作品）

あいさつの 大きな声が ひびく道

佐賀県 古賀 美咲さん（小学生の部）

もういいかい 指差し確認 まあだだよ

佐賀県 荒川 まなさん（中学生の部）

いい出会い いい道からの 贈り物

神奈川県 友久 健さん（一般の部）

◎最優秀賞3作品のうち「いい出会い いい道からの 贈り物」を今年度の代表標語とします。

○優秀賞（6作品）

【小学生の部】

『たくさん の えがおあふれる 今日のみち』

山形県 伊藤 さや さん

『ごみひろい きれいなみちに ごあいさつ』

長崎県 田代 優奈 さん

【中学生の部】

『前を見て あなたの道は この先に』

山形県 森谷 友理 さん

『通学路 元気をくれる 宝物』

千葉県 熊田 有紗 さん

【一般の部】

『美しい 道はみんなの 顔、心』

岩手県 熊谷 幸平 さん

『きらきらと ふれあいはずむ 朝の道』

神奈川県 曾田 誠一 さん

出雲大社参詣道「神門通り」の整備が順調に進んでいます

出雲大社の参詣道である「神門通り」（一般県道斐川出雲大社線）は、出雲大社の門前にふさわしい風格とにぎわいのある通りへと再生させるために、街路事業による整備を行っております。

現在、県では2期工事区間を施工しており、6月中旬には一畑電車出雲大社前駅から約150mの石畳舗装が完成しました。

石畳には、5月末に開催した「石畳に残そう100年のメッセージ記入イベント」にて地元の方や観光客合わせて2千名を超える方々にメッセージを記入していただいた石材も含まれております。

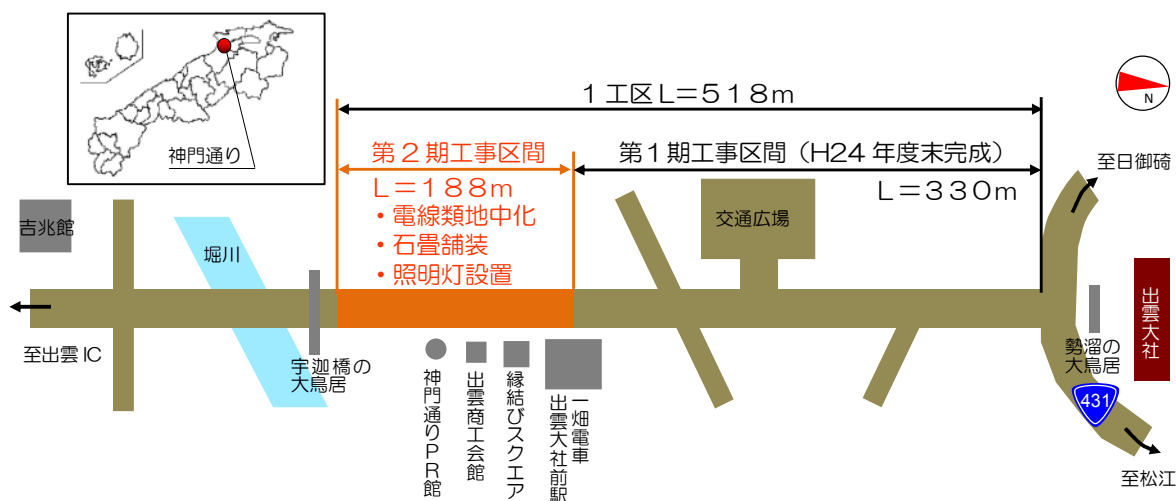
今後は電線類の入線や電柱の撤去、照明灯等の道路付属物の設置を行い、年内の完成をめざして整備を進めてまいります。



石畳イベント当日の状況



石畳の整備状況



～平成27年度都市景観大賞(都市空間部門)の『優秀賞』を受賞しました～

- 受賞地区：神門通り地区
- 受賞者：島根県、出雲市、神門通り甦りの会
- 受賞理由：参詣道として風格のある通りとなるようデザインされた街路整備や、特区制度を活用した置き座・日除け暖簾の設置等、県、出雲市、地元住民が一丸となって取り組んだことが評価されました。

※都市景観大賞とは、「都市景観の日」実行委員会が、より良い都市景観の形成をめざすための普及啓発活動の一環として良好な都市景観を生み出す優れた事例について、その実現に貢献した関係者を顕彰するものです。

飯石広域農道（愛称：飯石ふれあい農道） の計画区間が全て2車線化となりました！！

このたび、一般県道佐田八神線獅子寸後谷工区が、平成27年5月に供用開始され、当県道を含む飯石広域農道の計画区間全てが2車線化となりました。

飯石広域農道は、雲南市木次町山方を起点として雲南市三刀屋町から掛合町を經由し飯石郡飯南町上来島を計画区間とした広域農道で、平成16年度に県道関連区間を除く農道改良区間(延長約50km)が完了していました。

全区間2車線化によって、関係施設間の連携や農産物の流通、さらには農林業の振興と農村社会の発展に大きく寄与するものと期待されます。

また、飯石広域農道では現在、雪崩防止対策、橋梁耐震化、法面補修、路面補修等の保全対策工事を実施しており、農道の安全対策、長寿命化、機能維持に努めています。



『しまねの農業農村整備すごろく』
キャラクター ドジョウのどうじよ君

